

## 環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No	8	事例No	2	依頼者	日進市立東小学校	実施場所	日進市立東小学校
実施対象	小学4年生3クラス（115名）						
実施日時	令和3年10月13日（水）8時45分～10時20分、10時45分～12時20分 13時45分～15時20分（3クラス別々に実施）						
テーマ	地球温暖化にフォーカスを当て、学びを深める。						

### ●依頼内容

環境問題に関心を持ち、自分の知識や考えを広げたり、深めたりするための授業の講師を紹介してほしい。昨年度の依頼内容と同様に授業を進めてほしい。

### ●講師：村瀬政彦氏（環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員）

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」にも登録されている。

### ●授業の内容

座学	地球温暖化と私たちの暮らしと電気について	はじめに、講師の紹介が行われた後、授業の導入として、地球誕生と2050年の天気予報についての動画と、地球温暖化とその影響、最近の異常気象についての動画を視聴した。その上で、私たちの暮らしの中での電気の働きや大切さ、温暖化が進むなかでの世界の温暖化対策の動きについて学んだ。	45分
体験学習	電化製品の消費電力の計測	扇風機、ドライヤーといった、私たちが毎日の暮らしのなかで使っている身近な電化製品の消費電力をワットチェッカーを使って測定した。また、白熱灯、蛍光灯、LEDの消費電力を測定し比較した。消費電力の測定結果と1限目に学んだ温暖化の問題や電気の働きをふまえて、自分たちにできる温暖化対策について考えた。最後に、班ごとに調査の結果やこれから自分たちで取り組む温暖化対策を発表した。	45分

### ●授業の様子

地球の誕生の話や未来の天気予報の動画を見て、子どもたちは驚きの声を上げていた。地球温暖化とその影響、最近の異常気象についての動画に対しても、傾きながら真剣に見ていた。扇風機、ドライヤーなどの身近な電化製品の電力消費量の測定では、興味を持って積極的に取り組んでいた。また、白熱灯、蛍光灯、LEDの消費電力の測定では、その違いを目の当たりにし、とても驚いた様子だった。子どもたちは、体験を通して、毎日の暮らしのなかでどのくらいの電気を使っているかを学び、今後、どんな温暖化対策ができるのかについて真剣に考えていた。

地球温暖化やその影響等について学んだ。



身近な家電製品の消費電力を調べた。

